



THE Y'S MEN'S CLUB OF OSAKA NAKANOSHIMA Y'S WOMEN

大阪なかのしまワイズメンズクラブ
"To acknowledge the duty that accompanies every right"
「強い義務感をもとう、義務はすべての権利に伴う」

C/O OSAKA YMCA, 1-5-6, Tosabori, Nishi-ku, Osaka 550-0012 Japan

MOTTOES (2017-2018)

国際会長主題：“Let Us Walk in the Light - Together” 「ともに、光の中に歩もう」

アジア会長主題：“Respect Y's Movement” 「ワイズ運動を尊重しよう」

西日本区理事主題：“Healthy mind & healthy body make healthy club” 「心身の健康づくりから、クラブの健康づくりへ」

中西部部長主題：「未来には希望がある」 “Hope for the Future”

クラブ会長主題：「クラブのみんなと共に輝こう！」

Monthly Bulletin

第256号

2018年5月

聖書のことば

荒れ野で試練を受けたころ、神に反抗したときのように、心をかたくなにしてはならない。

(ヘブライ人への手紙 3章8節)

選者 桑原 賴子

4月例会報告

誰も置き去りにしない！

吉田 由美

なかのしまの4月第1例会は、4月11日（水）、いつもホテルグランヴィア大阪で開かれました。

今期メネット事業 中道主任の主題は「生きる!希望を分かち合いながら」として、子どもの生きる力が奪われている状況（貧困、虐待など）について学べるように、啓発活動が推進されてきました。なかのしまも活動の一環として、兵庫県ユニセフ協会の福井康代様に、ユニセフ（国際連合国際児童緊急基金）が設立された1946年以降の、活動状況及び、国内における現状をお聞きしました。

ユニセフは第二次世界大戦後、連合国による戦後復興施策としての子どもたちへの救済から活動が始まっています。日本は1949年からの10年間で65億円の児童救済基金支援を受けていました。現在は、日本国内26都府県34か所の地域事務所で、100人の職員が活動しています。昨年2017年では179億円の募金を集め、内81%を本部へ送金し、世界中の子どもの権利のため、幸せのために使われています。

豊かになったと思っている私達ですが、現実は子供の7人に1人の割合で相対的な貧困であるといわれています。たとえ外から貧困とは見えなくても、周りの人との繋がりが薄く、自分の居場所がない状態は、自分に自信が持てない大人に成

5月第1例会プログラム

初夏の戸外例会 “文学散歩”

日時：2018年5月19日（土）10:30～15:00

集合：大阪メトロ御堂筋線「天王寺駅」下車
近鉄デパートB1F 入り口前

会費：3,000円

行程

- 10:30 集合
阪堺電車 天王寺 → 宿院
- 11:30 「利晶の杜」見学
- 12:30 美々卯堺店にて昼食
例会 プログラム
- 13:40 阪堺電車 宿院 → 御陵前
「南宋寺」見学
- 14:20 阪堺電車 御陵前 → 天王寺
- 15:00 解散

日時、場所等、通常の例会と異なります。お間違えないようにご参加ください。

例会当番 (C)

受付当番 (B)

4月統計

第1例会出席者数	例会出席率	B F 統計		
		日本	累計	870g
メンバー 14名	出席者 14名	50 g	累計	870g
ビジター 2名	マイキャップ 0名	0 g	累計	72g
ゲスト 2名	合 計 14名	現金 円	累計	円
コメント 1名	在籍者 20名	提供者：武井、藤井、保田		
合 計 19名	出席率 70.0%			



長してしまいます。一緒に食卓を囲む家族の存在は、成長過程にある子供には大変大きな意味を持っていますが、それが途切れがちな子供たちにとって『子ども食堂』で過ごす時間、そこでの会話や教えてもらう勉強がそれらを補う大きなウェイトを占めることになります。

子どもの貧困は世界の日本の損失であり、子供にとっての

将来が閉ざされてしまってはいけません。国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」、通称「グローバル・ゴールズ」は、貧困に終止符を打ち、すべての人が平和と豊かさを享受することを目指しています。

私たちも出来ることから、今すぐ行動を始めましょう。私たちが躊躇している時間は、子供達には無いのですから。



大阪茨木クラブ例会に参加して

藤井 弥生

3月13日（火）茨木クラブ例会に参加しました。会場は茨木市クリエートセンター、プログラムは川端康彦様入会式と会員全員による3分間スピーチです。中西部部長大村ワイズ、EMC 事業主任三科ワイズ、事業主査丹吾ワイズ、紹介者工藤ワイズも参加です。

川端康彦様のご挨拶：29年生まれで63歳です。約20年前に大阪土佐堀クラブに入会したので、2回目の入会式。気恥ずかしかったですが、皆様が温かくお祝いをしてくださったのでうれしかったです。60歳還暦を迎えたころから、地域社会とのつながりをもっと持たなければと思いました。奥様は難聴者関係のボランティアで活動しています。世の中の役に立つことをしたい。YMCAの奉仕活動を行い、色々

な方と交友関係を作りたい。と話されました。

会員スピーチでは、加藤寅尾ワイズが「92歳29年に入会、ワイズ歴63年、元気で若さを保つ秘訣は、素直に人の教えを聞くこと、規則正しい生活をすること、何事も好奇心を持ち分かるまで調べることと。いろいろな方と交友し、ワイズを楽しんでいます。」と話されました。

私も思い出しました。自分の入会式すごく緊張したのを覚えています。また私が会長の時、武井和子さんの入会がとてもうれしかったことなど。

伺った一番の目的「ファミリーコンサートのアピール」もしてきました。5月12日は近江八幡、西宮、広島合同70周年と同じ日ですが、合同行かれない方は、ぜひなかのしまへとお願いしました。5枚ご購入いただきました。（入会された川端様も2枚ご購入いただきました。）初心に帰り楽しい例会、どうもありがとうございました。



草津クラブ30周年記念例会 は盲導犬と共に

今井 利子

4月14日（土）草津まちづくりセンターに於いて、草津ワイズメンズクラブ創立30周年記念例会が行われ、JR草津駅に向かった。

14時開会、草津橋川市長祝辞、YMCA総主事、大野西日本区理事を始め87名の出席者に、30年の歩みが紹介された。近江八幡クラブのスポンサーで誕生し、甲府21クラブとDBCを結び、今日もたくさんの友好者の出席があった。心のこもった記念品贈呈で第一部が終了した。

おとなしく寝て待つ盲導犬のお話の第二部である、関西盲

導犬協会会长濱本捷子さんの「視覚障害者に寄り添う盲導犬たち」の記念講演であった。どんな犬でもいいのではなく、1年中育てる人に預けられ、愛情いっぱいの生活をする。便尿のしつけ、食事よく食べ、よく寝るがすぐ反応する、など条件もある。言葉がないだけ、両者の信頼関係はすごいものと思った。でもお別れの時は訪れる。心溢れる想いのひと時もある、とお話は続いた。まだまだ少ない盲導犬、どんな環境にあっても、みんな幸せに、そのお手伝いをする犬を育てる事への目的を切々と語られ、出席者は、心を込めて献金箱に協力をした。

三部のチャリティーコンサートも、障害者の吹奏も含め、心暖まる30周年例会であった。

オードリ・ギルグさんが来日！

元なかのしまのメンバー ギルグさんが来日されます。なかのしまでは、クラブ内外の方々にお声をかけて、「囲む会」を予定しています。2014年以来4年ぶりの来日です。お目にかかるのを楽しみに！

5/12 18:05 伊丹着 5/16 「ギルグさんを囲む会（ランチ）」 5/25 9:00 伊丹発

於：千里阪急ホテル

Y's コメントから Y's メンヘ 【5】

藤好 基子

1959年 第2回アジア地区大会（4月25日～26日）、区大会（4月26日～27日）を父は多くのワイズメンに支えられ、第8代理事として努めました。母はてんてこ舞いだったようですが、メネットさんたちと楽しんでいたようです。高校生になった私は、1965年3月に「高校生のための東南アジアゼミナール」へ父のすすめで参加しました。生まれて初めて飛行機に乗る事になりドキドキしたことを覚えています。若い時から父母は子どもたちに様々な事を経験する機会を与えてくれました。（そのほとんどがYMCAに関係していました）大学進学後も私は少年部のリーダーとして美土代町へ4年間通い、今も少年部時代の仲間と交流が続いている。父は再び関西へ転勤しましたが、私の卒業まで単身赴任してくれました。大学の卒業式には父母揃って「基子の卒業で学校関係は終わりだから」と参列してくれました。

YWCAのキャンプ参加から、少年部でのメンバー、リーダーになりたくさんの人に出会ったことは貴重な経験となりました。初めましての挨拶、自己紹介、親睦を深めることなど、今も役立つ事を学びました。父からは①一度口から出た言葉は、もう飲み込むことは出来ないから言葉には十分気をつける。②プライドは高く、でも謙虚に。③人と対する時はボーッとしないで、相手が何を言わんとしているかを受け取る力をつけるように。④Y'sメンと言うか、大人になってからの喧嘩は取り返しのつかないことがある。子どもの時は喧嘩をしても、すぐに「あ～そぼう！」で仲が戻るが、大人はそうはゆかないから、相手を大事にしなさい。母からは①どんなに辛く哀しい時も、笑っていなさい。女は太陽だから、馬鹿だな～と思われているくらいで丁度いいのです。
②自由をはき違えないように、自由には責任がある。③言葉の初めに「だって」「でも」を言わない。父母からの言葉は今でも私の中で大切にしています。



大阪 YMCA 総主事就退任式に参列して

保田 圭子

総主事就・退任式、こんなのがあるとは知りませんでしたが、招待状をいただいたので参りました。前の錦織総主事の時から土佐堀運営委員会に入り、何もできないのに運営委員長や副委員長をやったからでしょうか？（そのころはクリスチャンコードというものがありましたから）当日は、入ったところからスタッフがずらりと並び、ちょっと物々しい雰囲気。10階チャペルはぎっしり一杯で隣の部屋も使われた

「YMCAは私」 No11

山佐 亜津子

YMCAに入職し、ちょうど30年を経たこの年。これまでずっと学校教育部門でのめり込むように仕事をしてきましたが、その現場から離れて統括本部に異動となりました。

YMCAの教育の価値を大切にする教職員仲間と共にやってきた学校創り、子どもの育ちに寄り添い、教職員も共に成長して行こうとする風土創り、学校として生き残るために必死の施策、山あり谷あり戦いありの、あっという間の30年でした。仲間とは毎日のように夜遅く閉館した後も、飲みながら本気で議論し、時には喧嘩になることもあったり、また学生や若い先生たちの成長や微笑ましいエピソードなどを夢中で語り合ったりしている間に、最終電車を何度も逃してしまったことか。

YMCAの教育現場には、どんな苦労をも超える喜びや感動が詰まっていて、それらは個性豊かな教職員仲間との強いチームワークと、ボランティアの人たちとの関わり、そして生徒・学生によって生み出されるものであり、そのことがスタッフである私にとって、何にも代えがたい魅力であり、私自身を成長させてくれる大きな要素のひとつがありました。

その現場を離れることについては、初めは衝撃がありました。また、統括本部など性格的にも能力的にも、私に最も向いていない仕事では？という疑問も、実はいまだに残っています。しかしながら、自分が直接的に現場に関わらずとも、社会にとって、子どもや青年にとって、YMCAの教育事業は大きな意義を持つものであり、そのことの私自身の中の意味合いも変わることはあります。組織として間接的に守り、発展させる役割を心から前向きに捉えられるのは、神様の意図であると信じられる信仰が与えられていること、そして自己満足や自分の好みを超えて、いつのまにか「YMCA全部がわたし」と思えるようになっているからでしょう。

また新たなチャレンジを与えられ、歩み始めたこの31年目です。

とか。スタッフの方も緊張した面持ち。総主事就退任式ってこんなに大変なものなの？

式は礼拝形式でたくさん讃美歌を歌い、奥田和弘牧師の司式のもと、総主事末岡祥弘さんと、新総主事小川健一郎さんが聖書を引き継ぎ、誓約をされました。末岡総主事の前の方はよく知りませんし、交代式ってなかったですよね。末岡総主事は私が一番YMCAと、よくかかわっていたときであり、親しくよくお話をさせていただきました。きちんと退任式をされ、私も参加できて良かったと、思いました。

さて、小川新総主事…何よりも1970年生まれとお聞きして「あら、お若いんだ」「私たちの子供世代よね。」という声があちこちで聞かれました。さすがYMCA。ヤングマンの総主事の誕生ですね。新しく歩みだすYMCA・・私は近ごろちょっと「老い」を感じることが多いのですが、心機一転！もう少し頑張りなさい、ということかな？

ニコニコ献金 4月 14,830円

〈ニコニコメッセージ〉— 4月例会 —

- ☆ とても貴重な機会、みなさんの和やかな雰囲気の中過ごさせていただきました。感謝。
(兵庫県ユニセフ協会 福井康代)
- ☆ お酒のない夜の会合は久しぶりで新鮮でした。
(花田園子)
- ☆ 桜も散り、八重桜、花みすきが美しく、今年はあちこちでお花見をすることが出来、体力がついてきたことに感謝です。
(東京クラブメネット 上原玉音)
- ☆ いつも盛会の例会、おめでとうございます。
(大阪センテニアルクラブ 山田孝彦)
- ☆ 私たちが子供の頃はみんな貧しかった。今の子供たちには昔と違った形の貧困があるということがわかりました。
(生雲)
- ☆ 「子供の貧困」私の子どもの時に比べたら・・・と思っていましたが、今の時代だからこそーとだんだん理解してきました。子供の幸せこそ将来に関連して大切です。「子どもは宝」これは私の持論です。
(今井)
- ☆ なんだか久しぶりのグランヴィアです。いつもの仲間の顔を見る幸せをおもいます。超忙しい!!元気なしるでしょうか。
(江見)
- ☆ 4月に入り、新たな場所でのスタートとなり新入りの気分で毎日勉強の日々です。
(大橋)
- ☆ "ぎっくり腰"になって一週間。ヒヒヒと自宅にこもっていましたが今日の例会は頑張って来られました。早く治らんかなあ~。
(大岸)
- ☆ 次期会長の私にはいろいろ示唆に富んだ卓話でした。どんな相手にどのように関わるか、考えすぎてもダメだし。また眠れぬ夜々になりそう。
(國友)
- ☆ 今日は教会の幼稚園の入園式でした。泣く子、お母さんから離れない子・・・いろいろですが、3年後にはどんなに成長しているのかな?楽しめます。
(杉浦)
- ☆ 今日も、多くのメンバーさんと逢えて嬉しかったです。
(瀬島)
- ☆ 子供の貧困問題のお話しを伺い、自分の事のみを考えている私は恥ずかしさと愚かさに消え去りたい気持ちになりました。でも現実に私の周辺にも、眼に見えないけど、貧困の方がおられる。どう手を指しだせばいいのでしょうか
(武井)
- ☆ 江見さんといっしょに下見にいってきました。
(武井美帆)
- ☆ 久しぶりの例会です。相変わらずの不良ですみません!あたたかいメンバーさんに甘えまくっています。
(鳥居)
- ☆ 4月例会に姉が出席してくれました。目的は皆さまからのお誕生日カードらしいです。温かなメッセージを毎年楽しみに4月は我がクラブへ出席らしい?姉妹で例会に出席できて嬉しい夜でした。
(藤好)

☆ 足いたい、腰いたい!ヒノキ花粉がいっぱい目がくしゃくしゃ。くしゃみ、鼻水・・・あー、早く5月5日にならないかな。(私の花粉症は3月3日から5月5日まで)
(保田)

☆ 福井康代さんの話で、子供の貧困率が17.3%で、食べることが出来てもスマホを持っていないとか、子供の居場所がないとか等々。私の子供の頃とは大変違っている。びっくりです。
(吉岡)

☆ 私たちも出来ることから、今すぐ行動を始めましょう。私たちが躊躇している時間は、子供達には無いのですから。
(吉田)

欠席者からメッセージ

☆ 今頃パソコン 習いに行っています。どこまで教えてくれるかな?
(藤井)

YMCA ニュース

★ 第301回早天祈祷会

日時…2018年5月18日(金) 7:30~8:30
証し…小川 健一郎さん(大阪YMCA総主事)
場所…大阪YMCA会館 10階チャペル

★ 大阪YMCA創立記念礼拝

日時…2018年6月2日(土)
場所…大阪YMCA会館
奨励…山口 恒 牧師(日本基督教団浪花教会)
※ 時間等詳細につきましては後日ご案内いたします

春から夏に向けて季節も変わり新緑の気持ちの良い日々になりました。外に出かける機会も多くなり元気にアクティブにワイス活動も楽しみましょう。
(大橋昌美)

◇5月お誕生日の方◇ Happy Birthday

杉浦 真喜子 8日

= お知らせ =

◎上原玉音さん(東京クラブメネット)、小原史奈子さん(東京たんぽぽクラブ)より、それぞれブリテン発送用切手をお送り頂きました。

感謝

編集後記

あっという間に桜が散って、さつきが、ハナミズキが満開です。新緑のまぶしい季節、ヒノキの花粉も終息の時期に入ったとか?世の中は、新学期、新年度のバタバタも落ち着き新しい歩みを確実にする季節ですが、ワイスは一年を振り返り、次年度を考える時を迎えてます。深呼吸しながら、前を見据えたいですね。